

平成30年12月14日

広報広聴委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 広報広聴委員会
- 2 日 時 平成30年12月14日(金) 10時00分開議
11時17分散会
- 3 場 所 第2委員会室
- 4 出席委員 白石純一委員長、渡辺久治副委員長、西田数市委員、
仮屋園一徳委員、瀨崎國治委員
- 5 欠席委員 竹原信一委員
- 6 事務局職員 事務局長 早瀬 則浩 議事係 大漣 昭裕
- 7 会議に付した事件
 - ・議員と語る会について
 - ・議会だよりについて
- 8 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

◎議員と語る会について

白石純一委員長

ただいまから、広報広聴委員会を開会いたします。

本日の議題は議員と語る会及び議会だよりについてです。

まず初めに、議員と語る会について事務局長から資料の説明をお願いします。

早瀬議会事務局長

おはようございます。それでは、皆様にお配りしました議員と語る会についての説明をさせていただきます。まず、議員と語る会の参加者状況ということで、平成30年度につきましては1班が68人、2班が61人、3班が62人の計191人。男性167の女性24で、割合は87%対13%というような割合になっております。ちなみに昨年度、平成29年度の参加者は166人でしたので、今年度は25人プラスということになります。実施した会場数については12カ所、一緒であります。この下のほうにアンケート結果からということなのですが、アンケートに答えられたのは、その下にありますが、全体で154人の方がアンケートに回答いただきました。その中身を見たときに、Q1でいきますと女性の回答、参加者自体が少ないということで、その辺の増が課題であろうかと思えます。Q2のほうでは回答者の年代、これにつきましても40歳代以下の回答、参加者が少ないということから、その辺の人たちの増が課題というふうに思っております。Q3からQ5までについては特にございません。Q6につきましては、後で円グラフを見ていただければいいんですが、議会だよりについては目を通してという方が多いというのは、当然ながら参加された方については議会に興味のある方だから参加されたのかなというふうに思っております。Qの9、開催会場につきまして、折多と脇本につきましてはそれぞれ2会場ずつすれば、ちょっとまた参加者数というのふえてくるのかなというふうに事務局としては考えたところであります。次の資料がカラー刷りになっておりますが、こちらのほうが議会だよりの平成29年度の同じ2月くらいに発行しました資料であります。ここで議員と語る会につきまして、一応数えましたら11の問答が記載してあります、11ですね。それで、裏のほうにいきますと、裏のほうは鶴翔高校とということで、来月の23日に各種団体と予定をされていますので、その記事がこちらのほうに来るのかなと。それと、下のほうが議員と語る会の日程ですね、そしてさっき言いました裏面のところが問答ということで、最大載せられて11、それくらいの数なのかなと思っております。そこで、次の一枚紙に移りますが、議会だよりの平成30年度議員と語る会、ここで一連番号で1から19までを抜粋してございます。これはその下のほうに資料であります黄色で示しました一覧、130項目ぐらい、議員と語る会の各会場で出されたもので、要望であったりとか意見であったりとか質問も入っています。その中に回答が必要と思われるようなもの。そして通常執行部と議会のほうでやり取りを頻繁にやってない部分、そういうところも含めて19項目を抜き出してみました。委員の皆様で19項目の中から12、3ですね、1ページに入る分ぐらいについて、ここのどれとどの質疑・回答を議会だよりのほうに掲載していくかを検討していただきたいと思えます。

それと、最後に一枚紙の両面、1番上がアンケート調査の中で議会・行政のアンケート、これは各会場、先ほどのやつは各会場で出された意見ですが、これはアンケートで出された意見等について書いてございます。裏面のほうは、今度は議会だよりに対する意見ということで、20項目ぐらい記載をしてございます。こちらのほうをお目通しいただきたいと思えます。以上です。

白石純一委員長

局長の説明が終わりました。
これより委員の皆さんから御意見をお伺いします。
ここで休憩に入ります。

(休憩 10:05～10:17)

白石純一委員長

休憩前に戻ります。

議員と語る会の報告ですけれども、要回答のものについては執行部から全て書面で回答をいただくと。それを各班に振り分けた回答用紙を各班長がそれぞれの班の区長に配布するという。そして、主なもの、全市に共通する主な事項については議会だよりに掲載するという方向でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

では、そのように決しました。

休憩に入ります。

(休憩 10:18～10:24)

白石純一委員長

休憩前に引き続き、会議を続けます。

参加者に年代別、あるいは男女別で偏りがあるというような結果も出ておりますし、また時間帯が、今の時間でいいという意見が多いようですけれども、さらに様々な方が出られるような時間帯、曜日、あるいはその班、開催場所によって時間を早めたり、あるいは日曜の昼間にしたりというようなことも臨機応変に今後やっていくべきではないかという方向性で御異議ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、そのようにいたします。

次に、団体との議員と語る会についてですが、お手元に資料をお配りいたしました。前回の委員会の結果に基づいて、その趣旨と目的、対象、テーマ例、そして日時、場所を作成しました。日時については、対象になっている団体に一応打診をしまして、この日時であれば参加できると。特に鶴翔高校生の時間帯が、なかなかハードルがあるものですから、鶴翔高校の校長から去年は授業1時間枠だったけれども、90分確保しますということで、また場所も移動のためには、鶴翔高校生の移動が一番の問題ですので、鶴翔高校でやっていただければありがたいということだったので、場所も鶴翔高校の場所を押さえてあります。

目的ですけれども、先ほども出たように、議員と語る会では、一般の議員と語る会ではやはり年配者の、特に男性の方が多数を占めますので、目的としてやはり人口減、少子高齢化対策としては現役・子育て世代が住みやすいまちにするために、若手の方と女性が市政に参加し、意識を持ってもらうということを促す。そしてその意見を市政に反映するという趣旨、目的から背景・趣旨の1である各種団体の、上層部とは普段、行政や議員は接する機会が比較的多いと思いますけれども、次世代のリーダーとなる現役世代との意思疎通は各団体のリーダー層に比べるとまだまだ足りないんじゃないかということで、そのような若い方、現役世代の方々と意見を交換する必要があるのではないかと。2番として、通常の議員と語る会、50歳以上が4分の3と書いてありますが、アンケートによると、アンケートの回答者で90%以上でした。50歳以上が90%以上を占め、ほとんどが男性であると。3番、女性目線の提案・要望を聞く機会が今は限られるのではないかと。4番、産業・組織が異なり普段話す機会の少ない若手女性リーダー同士が横

のつながりですね、意見交換を通じての化学反応、相乗効果も期待できるのではないかと。5番として、これは鶴翔の校長からあったんですが、高校生に地元若手とその仕事、考えに接する機会を提供してもらって、地元への就職、Uターンの少しでもきっかけになればありがたいと。

対象としては、農業のほうの青年組織アグリス、漁協の青壮年部、商工会議所青年部、JC、阿久根華女、観光連盟、鶴翔高校の7団体から6名ずつ参加いただき、計42人。16名の議員を含めた58人、これは班に分かれる云々はこれからのやり方だと思いますが、例えば6班に分かれて討論していただいて提案事項を出してもらおう。

テーマとしては具体的に、若者が阿久根に住み、働き、家庭を持ち子育てするために何が必要か。具体的には、阿久根で自慢できるもの、阿久根が劣っていると思うもの。ではその中で生きがいを感じる時はどんなことか、1番困っていることは。では阿久根にとって将来チャンスとなることはどんなことか、というようなことを出し合いながら市に対して提言をいただけないかというような方向性をひとつのやり方として考えております。

日時は1月23日、水曜日の夕方5時からの90分。場所は、鶴翔高校で去年と同じ会場になると思います。

以上が議員と団体と語る会の骨子ですが、何か委員から御意見はございますか。

西田数市委員

テーマですね、年が明けたら県議選も始まるし、市議選も始まりますね。選挙に行くと、1票の重さ、そこもテーマに入れてもらったほうがいいんじゃないですか。特にまた鶴翔高校生もいるので。

白石純一委員長

その辺も、1票の重さを感じてもらいながら。

濱崎國治委員

でも、この辺です、どういうふうにしたらいいかというのを、議員が2人ずつ入るわけですよ。1票の重みというのは、そこで出てくるんじゃないですかね。あえて県議選、市議選を語らなくても。

西田数市委員

選挙に行くと投票するというのをやっぱり。

白石純一委員長

だから政治参加ですよ。1票の重さというか、もちろんそれは大事なんですけど、もちろん選挙に来てくださいよということと、普段から市政にも関心を持ってくださいよという趣旨ですよ。

仮屋園一徳委員

場所なんかはもう学校と打ち合わせ済み。

白石純一委員長

鶴翔高校からはOKをいただいています。

[発言する者あり]

一応ほかの団体も全部OKはもらっています。

[発言する者あり]

この団体で。

[発言する者あり]

ほかに御意見は。

渡辺久治委員

もちろんこれは、人選は各団体にお任せするということですね。

白石純一委員長

そのとおりです。

渡辺久治委員

なるべく若い方と。

白石純一委員長

それもお願ひしたいと思います。

必然的に、多分、商工会議所青年部は45歳まで、JCは40までですかね、というようなことはありますので。

渡辺久治委員

JCでも、はっきり言って人数も多くないですから、ぎりぎりですので、人選とかそういう段階ではないと思いますので、その辺も考えながらやってもらえれば。

白石純一委員長

例えば、去年卒業した方でもその団体が、そのこの団体からということであれば別にそんなに正式なメンバーじゃなけりゃいけないとかいうことでもない。

仮屋園一徳委員

前のときの反省点として、同じ室内に4組も5組も話をすると横のものが聞こえてほとんど話ができない。いけば、自分の班よりもよその班の人のほうが近くから話をされるので、もうちょっと離れた形でないと、これだけの人間が入ると話し合いにならない。

渡辺久治委員

あそのの広さはどうでしたかね。

白石純一委員長

半分くらいを使って結構、班と班がくっついていたので、少しずつ離すようにはしたほうが良いと思いますね。その辺はまた会場を見て。

濱崎國治委員

問題は発表者やっとよな。それをまとめてどういうふうに発表するか。だから鶴翔高校の人を発表させるには、ほんとその辺の発表力というのをまだですね。だからその辺をよく検討せんといかんのではないかなと。

白石純一委員長

やり方はおっしゃるとおり、別に鶴翔高校生に発表させる必要はないので。

濱崎國治委員

特にさせんほうがいいのかもしれんなという気がした、前回からしても。

白石純一委員長

ほかに御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、細かいことはこれから詰めますけれども、以上の方向性で進めることで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、そのように決しました。

休憩に入ります。

(休憩 10:35～10:38)

白石純一委員長

委員会に戻ります。

以上で議員と語る会についての協議を終わります。

(事務局長退室)

◎議会だよりについて

白石純一委員長

次に、議会だよりについてを議題といたします。
一旦休憩に入ります。

(休憩 10:38～11:14)

白石純一委員長

委員会に戻ります。

議会だより200号、このレイアウト案、及び200号・50周年特集について、何か皆さんから御意見がありますでしょうか。50年・200号については、表紙の、これまでの50年の表紙の変遷やその中でその表紙等を使ってこういうことが議会、あるいは市政でありましたというようなのを、例えば年表のような形でビジュアル的に見せるということ。そして、市民を代表して元議員の方、あるいは子育て世代、現役世代の市民の方、そして若者等へのインタビューを通じて議会への期待、要望を聞き出すというようなのを特集としてどうかと思っております。ほかに皆さんから御意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、そのような方向性で特集については進めると。

またレイアウトにつきましては、表紙に続いて総括議案の特異性のあった住民投票条例、問責決議。そしてほかの号でも同じように審査票、そして委員長報告、討論、一般質問、それに続いて200号・50年の特集ページを2ページから3ページ。最後に議員と語る会。さらに最後の裏表紙にクイズ形式で紙面の内容について質問をして見てもらうようにするというような趣旨。ただ、このクイズ形式に関しては予算措置を調べた上で全員協議会等でも諮りたいと思います。

以上の方向性で御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、そのように決しました。

あとですね、本日欠席の竹原委員については、あさつての市長告示で出馬されるというような報道もありましたので、議会だよりの一般質問、竹原信一議員の一般質問、あるいは討論については今後本人を交えた審査ができなくなりますので、この委員会に一任いただいて、その案を本人にお示しするという形になろうかと思っておりますが、その方針でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ほかに何か御意見はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、以上で広報広聴委員会を終わります。

(散会 11時17分)

広報広聴委員会委員長 白石純一